

平成23年度（2011年度）

# 日田市埋蔵文化財年報



2012 日田市教育委員会

## 発刊にあたって

日田市内では、平成23年度も民間開発・公共事業などにともない各所で埋蔵文化財調査が行なわれ、それとともに郷土の歴史に新しい発見がもたらされました。

特に本年は、伝姫塚古墳出土の「伝姫塚古墳出土鉄剣」が市の有形文化財に指定され、また小野川の川底から発見された火碎流堆積物と樹木群が、「小野川の阿蘇4火碎流堆積物及び埋没樹木群」として国の天然記念物に指定されるなど、郷土に誇れる貴重な文化財が新たに加えられた年となりました。また、史跡指定にむけた「永山城跡」の発掘調査が別府大学と協力して始められ、今後の成果が期待されています。

これからも日田市内で発見された文化財を地域の歴史として市民の方々に身近に感じることが出来るように、文化財の調査はもとより資料等を活用した普及・啓発事業に努めてまいります。

最後になりましたが、この1年間日田市の埋蔵文化財調査および普及・啓発に多大なるご指導・ご協力を賜りました関係者の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。

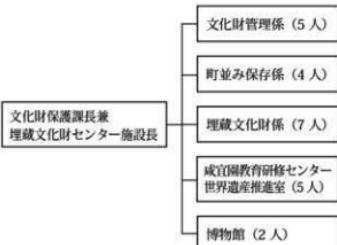
平成24年5月

日田市教育庁文化財保護課長 財津 俊一

### 例　　言

### 組　　織

1. 本書は、平成23年度に日田市教育委員会が行った 平成23年度の日田市教育庁文化財保護課の構成及び埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。 文化財係の組織は以下のとおりである。(平成24年3月現在)
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料について  
　　では、日田市埋蔵文化財センターにて保管・展示している。
3. 表紙写真は、城下町遺跡の空中写真（本文P.7参照）  
　　である。裏表紙写真は、筑後軌道で検出された転車台である。（本文P.14参照）
4. 本書の執筆はI-1)を行時が、I-2)を各調査担当者が行い、文責を末尾に記している。IIは土居、IIIは、各事業担当者が行った。
5. 編集は各担当者の協力の下、上原が行った。



### 《埋蔵文化財係》

埋蔵文化財係長	土居 和幸	総括
主　查	草藤 善紹	史跡整備事業担当
主　查	井上 和泉	普及啓発事業担当
主　查	行時 桂子	民間開発事業担当・事前審査担当
主　查	若杉 竜太	公共事業担当
主　查	渡邊 隆行	史跡整備事業・保存修理事業担当
主　事	上原 翔平	埋蔵文化財補助事業担当

### 目次

I 平成23年度の埋蔵文化財調査事業	-1	III 平成23年度の埋蔵文化財普及・啓発事業	-20
1) 平成23年度の埋蔵文化財調査の概要	-1	1) 埋蔵文化財センター運営事業	-20
2) 発掘調査・確認調査の概要	-7	2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動	-22
II 平成23年度の発掘調査報告	-14	3) 新指定の文化財	-25
筑後軌道豆田駅転車台跡の調査報告	-14	4) 埋蔵文化財関連の保存修理	-26
		5) その他 (掲載申請・資料借用・貸出・受贈図書・刊行物など)	-26

# I 平成23年度の埋蔵文化財調査事業

## 1) 平成23年度の埋蔵文化財調査の概要

### 平成23年度の発掘調査等の動向（表1～4）

平成23年度の民間開発・公事業に伴い提出された埋蔵文化財の所在の有無についての事前照会は、計195件（民間開発131件、公事業64件）であった（表4）。これらのうち試掘・確認および立会調査は21件（民間開発14件、市公共事業4件、県公共事業1件、民間開発立会1件、公事業立会1件）を実施した（表3）。

発掘調査は8件実施し、市公共事業に伴うものが4件、県公共事業に伴うものが3件で、民間開発に伴うものではなかったが、民間の調査団体との協働事業が1件である。市公共事業は、史跡整備・重要遺跡確認・防災事業・市道改良事業に先立つものがそれぞれ1件ずつで、県公共事業3件は全て圃場整備に先立つものである。

事前審査の照会件数は、前年度と比較して15件ほど減少している。公事業に伴う事前照会件数は前年度より11件増加しているが、民間開発に伴う事前照会件数は26件減少している。公事業増加の主な要因としては、建物等の老朽化や小中学校の合併による学校施設の整備が挙げられる。また、民間開発については、個人住宅・分譲地造成にかかるものが微減しているのに比べ、アパート・マンション等の集合住宅が微増しているが、特筆されるのは携帯電話の鉄塔建設であろう。昨年度は民間開発に伴う事前照会の約半数を占める77件が提出されていたが、本年度は40件に留まっている。しかし減少しているとはいえ、本年度の民間開発照会件数の約1/3を占めており、携帯電話をはじめとする無線通信技術の進歩を考慮すると、個々の開発面積は小さいものの、面積数m<sup>2</sup>の電柱タイプだけでなく数10m<sup>2</sup>を必要とする鉄塔タイプも増えていることから、今後ともその開発の動向に注意していく必要がある。

### 平成23年度の発掘調査の内容（表2）

ここ2年ほど本調査の数は少なかったが、本年度は朝日地区において圃場整備関連の調査が開始されたため、8遺跡（計16,247m<sup>2</sup>）と大幅に增加了。

本年度調査の内容を振り返ると、旧石器・縄文時代にかかる本調査はなかったが、尾部田遺跡2次調査で遺構検出中に縄文土器の出土が見られた。

弥生時代では、花ノ木遺跡1次調査で後期の竪穴建物跡と溝状遺構が、平田遺跡でも後期の竪穴建物跡が見つかっている。なお花ノ木遺跡1次調査地に隣接する2次調査地では弥生土器が出土している。

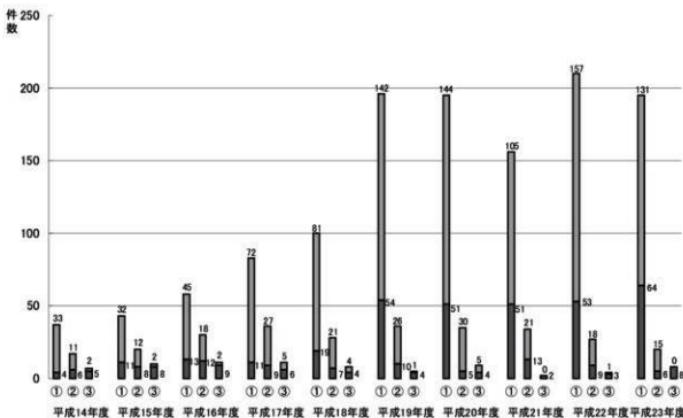
古墳時代では、まず史跡整備に伴うガランドヤ古墳3次調査において、1号墳石室の閉塞状況や内護列石・小マウンドの状況が確認され、墳丘規模の再検討の結果、28.7m（従前は25.4m）と推定することができた。そのほか、花ノ木遺跡1次調査で前期～中期の竪穴建物跡や溝状遺構と後期の溝状遺構、同2次調査でも前期～中期の竪穴住居、平田遺跡で5世紀前半～中頃の竪穴建物が確認されている。

古代では、花ノ木遺跡1次調査で奈良時代の掘立柱建物跡と溝状遺構、尾部田遺跡2次調査で古代後半の土坑と8世紀代の溝、平田遺跡で総柱建物を含む8世紀代の掘立柱建物群や10世紀代の土師器壇が出土した土坑などが確認されており、特に10世紀代の遺物は市内では出土例が少ないため、注目されるものである。

中世の調査例はなかった。それに対して近世の調査が多くなってきており、永山城跡2次調査では、本丸を中心とした調査で本丸御殿の痕跡や本丸石垣の築造当初の平面プラン、大手および搦手の構造などが確認され、北側の堀部分では、土塁の石積みが確認されている。また国選定重要伝統的建造物群保存地区である豆田地区内で初の本調査となった城下町遺跡では、江戸時代末の絵図と合致する遺物や遺構が見つかることなど、大きな成果が得られている。

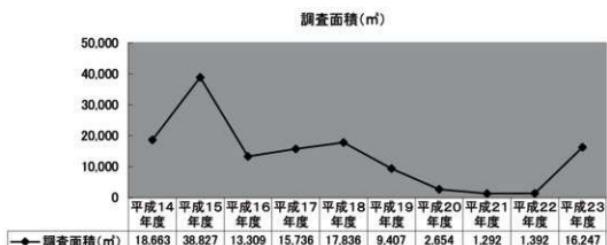
さらに、近代のものとして、民間の調査団体と協働で実施した明治～昭和期の軽便鉄道・築後軌道の調査では豆田町転車台跡が確認されており、全国的にも例の少ない貴重な調査となった。

表1：埋蔵文化財の調査件数・面積及び調査担当者の推移



民間  
公共

① 照会件数  
② 予備調査(試掘・確認)件数  
③ 免査調査件数



	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
専門職員数	4	4	4	6	5	5	5	5	6	5
嘱託職員数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
調査面積	18,663	38,827	13,309	15,736	17,836	9,407	2,654	1,292	1,392	16,247

面積単位 m<sup>2</sup>

平成 16 年度までは合併前 (旧市内) の数値。平成 17 年度以降は合併後 (旧市部を含む) の数値。

表2：平成 23 年度発掘調査一覧表

日田市教育委員会

番号	調査名	所在地	事業主体	調査原因	開発面積	調査面積	調査年月日	費用負担	調査担当者	備考
1	城下町遺跡	大字日出町123-1	公共	防災施設建設	1,095	369	04/27～10/13	原因者	若林	
2	史跡 ウラシマ古墳3基	大字日出町123-1	公共	史跡整備	-	25	07/22～11/15	原因者	瀬織	
3	水山古墳跡 2 基	丸山3丁目1-1	公共	重要史跡確認	-	528	08/10～12/09	原因者	行時	
4	花木本遺跡 1 次	大字小字花木ノ木	公共	史跡整備	-	10,733	07/04～10/15	原因者	若林	
5	伊田山遺跡	大字伊田山	公共	史跡整備	177,044	2,459	07/22～11/23	原因者	若林	
6	尾原山遺跡 2 基	大字小字尾原下山	公共	史跡整備	-	1,055	01/19～11/16	原因者	若林	
7	花木本遺跡 2 基	大字小字花木ノ木	公共	市道改良	13,239	787	01/27～03/23	原因者	上原	
8	筑後街道豆田町軒台	丸之内町34番地	公共	道路整備確認	-	11	07/19～09/06	-	土房	河間との協働調査 地図名：「丁目道路」

表3：確認調査・立会一覧表

番号	遺跡名	区分	調査場所	事業目的	開発面積	調査面積	調査期間	調査区分	時代	遺構	遺物	申請番号	処置
9	二和敷田	民間	大学二丁町字舟ノ原 90m <sup>2</sup>	新規所・新規 施設	130	30	0120～0211	確認	近世・江 戸	生土層・石器・陶器	2010105	工事実施	
10	日田集落	民間	大学二丁町字舟ノ原 525m <sup>2</sup>	アパート建設	172.30	10	0002	確認	—	—	2011019	工事実施	
11	尾瀬	民間	大学右岸字瀬端 125m <sup>2</sup>	桜井園地改修	890.50	13	0024	確認	新生～ 古墳	植物包含 層	2011011	工事実施	
12	日田集落	民間	浜町 2 丁目 360-9、 260-12、260-13	共同住宅建設	137.37	4	0112～0712	確認	近世以 降	上耕質・土質試片・ 植物包含 層	2011021	工事実施	
13	丸山城跡	公有	丸山 2 丁目 2-1	和菴古墳遷移	30	6	0123～0722	古谷	近世以 降	石垣石	2011001	工事実施	
14	東山古墳群	民間	丸山 2 丁目 9-49	個人住宅建設	53.60	11	0009～0812	確認	近世	鐵板瓦・瓦、其體・御製品	2011034	工事実施	
15	日田集落	民間	大学二丁町舟ノ原 357.2	工場建設	392.21	10	0029	確認	近世以 降	自然調査 層	201104	工事実施	
16	日田集落	民間	浜町 2 丁目 265 番地	個人住宅建設	263.76	12	0061	確認	古墳～ 古代？	土坑・古墳・ 墓丘・上耕質	2011032	工事実施	
17	(7) 花ノ木	公有	大学小盆地舟ノ木 866-1 (12)	水道敷設	12.20	8	0029	確認	—	生土層・陶器	2009036	一般遺物調 査	
18	水戸	公有	大学城内町 416-2	防火水槽建設	35	17	1004	確認	—	—	2011009	工事実施	
19	上手井	民間	大学二丁町舟崎 965 番	倉庫改修	1625	40	0006	確認	古代・ 近世	植物包含 層	2011032	工事実施	
20	日田集落	民間	浜町 1 丁目 115-1	住宅建設	5.582	65	0013～1601	確認	中世	陶器	2010046	工事実施	
21	日田集落	民間	城町 2 丁目 6-8	改修	3	3	1118～1129	確認	—	1輪軸 10 件	2011014	工事実施	
22	日田集落	民間	城町 1 丁目 116-1	老人ホーム建 設	1476	31	1301	確認	中世	植物包含 層	2011012	② 工事実施	
23	城下町	民間	豆野町 127 番地	防災施設	—	—	1267～1226	古谷	古谷・遺 物	陶器・瓦	2011077	工事実施	
24	前田櫛原里他	公有	大字小盆地舟附 5-1-5 5-2	園芸整備	213.903	960	1220～0227	確認・確認	新生～ 中世	植物包含 層	2010002	一般遺物調 査	
25	日田集落	民間	浜町 2 丁目 280 番 1 号 2 号	平地造成	280	41	1206～1221	確認	—	—	2011070	工事実施	
26	西浦	民間	大学西隅字舟原 225 番 地 1	平地造成	900	21	0110～0421	確認	—	—	2011001	工事実施	
27	細川山	民間	上内町 103 番地 2	平地造成	613.9	130	0307～0312	確認	中世	上耕質・植生	2011092	一般調査	
28	丸山城跡	公有	丸山 2 丁目 2-1	駅舎整備	15	0307～0327	確認	不明	石積みの 上層	—	2011031	古文流発掘 調査	
29	鹿庭	民間	大学右岸舟原町 1720 番地	西浦町屋敷無理 施設改修	130	38	0326	確認	—	—	2011106	工事実施	

※( )内の番号は、表2の調査一覧番号に対応する。

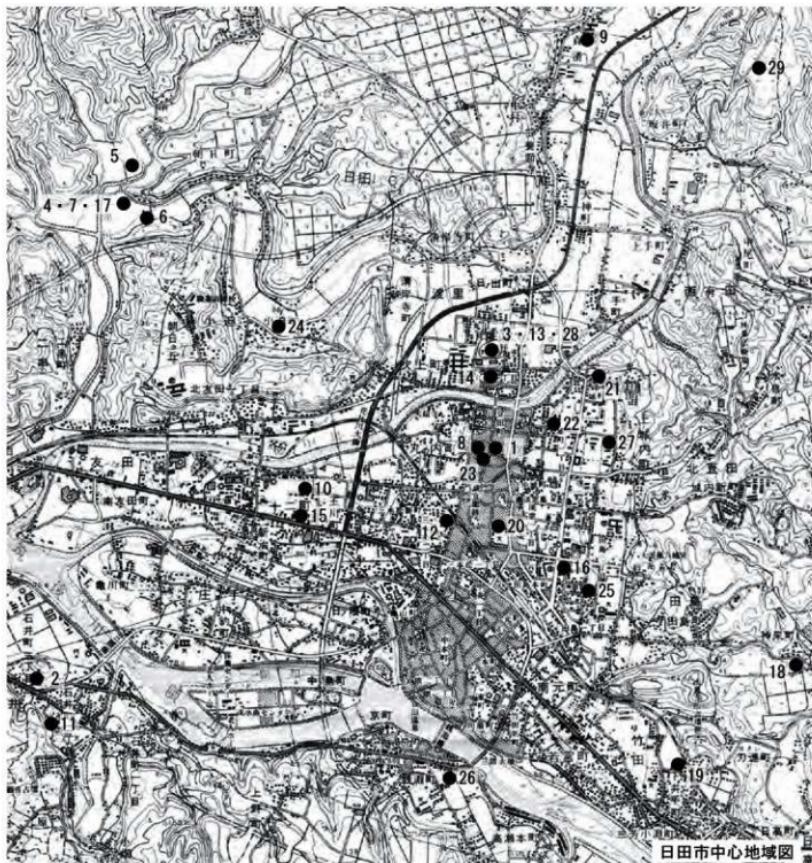
表4：照会一覧表

申請番号	事業主体	申請内容	対象地	開発面積	遺構名	判断結果
—	公有	小堀前導施設改修工事	大学北側河内山 138-1	—	—	工事実施
A/4	20101009	民間	基島町岸原字舟 1 号	天ヶ原町岸原字舟 967.5 番 1	2.25	工事実施
A/6	2010092	民間	住化建設	—	—	工事実施
A/8	2010093	民間	集合住宅建設	大学二丁町舟端 99-12 ほか 2 箇	315.7	工事実施
A/18	2010094	民間	個人住宅建設	大学東字舟 41-2, 41-5	993	工事実施
A/18	20101004	民間	個人住宅建設	大学東字舟 41-2, 41-5	157 佐藤寺	工事実施
A/18	20101005	民間	個人住宅建設	大学字舟字舟 659-5	186.41	工事実施
A/19	20101006	民間	基島町ガード路工事	大学鶴見字舟 1 飯 1428 番 1	10 大肥下内河	工事実施
A/19	20101007	民間	西浦店舗建設	宇津町西浦字舟 5013 番 1	2466	工事実施
A/20	20101009	民間	基島町ガード路工事	宇津町西浦字舟 5013 番 1	5.96	工事実施
A/20	20101010	民間	西浦店舗建設	宇津町西浦字舟 4344 番 1 ほか 1 第	2.27	工事実施
A/25	20101011	民間	住化建設	大学右岸字舟 1214 番地 1	996 佐藤	H22 高麗調查
A/28	20101012	民間	西浦店舗建設	大学右岸字舟 1214 番地 1	697.91 佐藤	工事実施
A/28	20101013	民間	個人住宅建設	東町 701 番地 1	224.58	工事実施
S/2	20101019	民間	アパート建設	大学二丁町舟ノ原 521 番地 1	472.91 田中泰	H22 小塙調査
S/16	20101013	民間	個人住宅建設	大学右岸字舟 1 ほか 700 番	15.34 佐藤	工事実施
S/17	20101014	民間	食棲建設	見附町 2-20	26.73 今下町	工事実施
S/17	20101015	民間	個人住宅建設	大学右岸字舟 591-3・594-5	57.76 高麗条里	工事実施
S/18	20101002	公有	河原施設建設	天ヶ原町岸門アダック 666-1	213.15	工事実施
S/18	20101003	公有	河原施設建設	大山の西字舟 8899-2	293.09	工事実施
S/20	20101016	民間	基島町ガード路工事	前津町赤石字舟 8896 番 1	9	工事実施
S/23	20101017	民間	基島町ガード路工事	大学右岸字舟ノ原 3114 番 4	2.25	工事実施
S/23	20101018	民間	基島町ガード路工事	大学右岸字舟 3768 番	2.25 佐藤	工事実施
S/31	20101020	民間	共用住宅施設工事	大学二丁町字舟 1251 番地	1601	工事実施
G/9	20101021	民間	共用住宅施設工事	大学二丁町字舟 253 番地	178.05 別府橋六種路	工事実施
G/10	20101022	公有	和菴古墳遷移	大山の西字舟 2-1	42.25 今井町	H22 公益團地
G/13	20101023	民間	西浦店舗建設	舟町 5-5	135 今井町	入居
G/12	20101024	民間	西浦店舗建設	大字舟ノ原 2-6 ほか 3 畳	207.21 横内田連跡・日田集落	工事実施
G/11	20101025	民間	共同住宅施設	西浦町字舟ノ原 269-9, 269-12, 269-13	137.37 日田集落	H22 小塙調査
G/20	20101026	民間	事務所改修	大学右岸字舟 1032 番 1, 1032 番 6, 1002 番 7	176.08	工事実施
G/20	20101026	民間	個人住宅建設	大学右岸字舟 1021 番 1, 1022 番 2	548	工事実施
G/21	20101027	民間	基島町ガード路工事	大学右岸字舟 1015 番地	6	工事実施

6/24	2011028	茨城	園倉建設	三木松 2 号工事 744-9, 287, 287-2, 789-6, 789-1 の 25	353.79 日田条里	工事実施
6/28	2011029	茨城	自転車廻設	大字日吉字牧野 2462 番地 11 丁	25.2 大郡	工事実施
6/30	2011030	茨城	運動場造成	大字日吉字岩谷 565 番	162.1 上井手	工事実施
7/5	2011031	茨城	黒磯地盤整備	大町町大山人穴久保 4730 番 2	4	工事実施
7/11	2011035	埼玉	下条木本管理設	大字宇都宮市 4 号工事	544.67 二郎	工事実施
7/11	2011066	埼玉	下条木本管理設	大字宇都宮市 (上野町)	562.22 二郎条里	工事実施
7/11	2011067	埼玉	下条木本管理設	大字宇都宮市 (石橋町 2 丁目)	619.2 二郎者屋	工事実施
7/11	2011068	埼玉	下条木本・田中管設	大字宇都宮市 (石橋町 2 丁目)	20.5 二郎者屋	工事実施
7/13	2011032	茨城	個人住宅建設	大字日吉字下原 256 番地	204.74 日田条里	工事実施
7/13	2011033	茨城	個人住宅建設	大字日吉字下原 970 番地 8	154.86 二郎	工事実施
7/19	2011014	茨城	個人住宅建設	大山 17 丁目 9-9	53.60 大山町御所跡	023 二郎調査
7/21	2011014	茨城	東海岸施設	大字小山字森 209 号 1, 209 号 6	32.25 船岡尾根	工事実施
7/22	2011036	茨城	公営駐車場	大字友寄字田中 501 番地, 504 番地 1	136.2 中田	工事実施
8/1	2011037	茨城	個人住宅建設	大字二子原字北 229 番地の一部	93.30 山ノ神	工事実施
8/2	2011038	茨城	パート・律設	三木松 1 号工事 4	233.72	工事実施
8/5	2011009	埼玉	防火木構造	大字赤堀里 482-2	25.2 八ヶ	023 二郎調査
8/5	2011010	埼玉	防火木構造	大字赤堀里 730-1	25.3 久瀬	工事実施
8/5	2011011	埼玉	防火木構造・消防施設	大山町東大山 472-12	160 千夫	工事実施
8/8	2011039	茨城	個人住宅建設	洪山 2 号工事 42-8	230.09 日田条里	工事実施
8/9	2011040	茨城	事務所・律設	本町 7	80.30	工事実施
8/9	2011041	茨城	個人住宅建設	大字宇都宮市 209 号 1, 209 号 6	504.16 村井	工事実施
8/10	2011043	茨城	駒形地盤整	大字西日田 2029 番地 1	428.79	工事実施
8/12	2011044	茨城	工事建設	大字七日田字御所 557-2	392.2 日田条里	023 二郎調査
8/15	2011045	茨城	黒磯地盤向気通信施設	上津川江原字宮原 527 番 2	6	工事実施
8/15	2011046	茨城	黒磯地盤向気通信施設	前川江原木本原 167 番地	6	工事実施
8/18	2011047	茨城	個人住宅建設	大字山形字船原 596 番 1	232.30 八幡	工事実施
8/23	2011041	埼玉	下条木本管設	大字名神 (石橋町 2 丁目)	511.4 老若者	工事実施
9/5	2011048	茨城	宅地造成工事	木下坂字平山 (約 180 番 1, 180 号 3, 180 番 3, 180 番 4, 180 番 5)	663.76	工事実施
9/7	2011049	茨城	黒磯地盤向気通信施設	大字庄子町下 517 番 6	4 村前	工事実施
9/8	2011050	茨城	黒磯地盤向気通信施設	上坡内町 943 地点 6	2 意願山	工事実施
9/16	2011051	茨城	作業棧橋・防噴施	大字三和字坂下 1853 番地	148.6 西ノ久保	工事実施
9/17	2011052	茨城	個人住宅建設	大字日吉字坂 853 番地 1	132.23	工事実施
9/20	2011053	茨城	園倉建設	大字日吉字坂 565 番	162.1 上井手	023 二郎調査
9/21	2011054	茨城	アパート・律設	大字三和字尾原 1018 番地 2 附	1375	工事実施
9/21	2011055	茨城	製材・運送施設工事	大字名神 (津島 797-2, 797-6)	2091.56	工事実施
9/22	2011053	埼玉	小学校・事務室	大字夜須 1514	85.50 沈原	工事実施
9/22	2011056	茨城	障害者支援施設建物	渡利 2 丁目 11 号 22	17.0 日田条里	工事実施
9/30	2011057	茨城	個人住宅建設	大字日吉字小川 2813 番地 1, 2813 番地 1 の一部	332.36	工事実施
10/4	2011042	埼玉	老人ホーム・建設	越戸町 1 丁目 10-1	1470.82 日田条里	工事実施
10/4	2011048	茨城	宅地造成工事	大字友寄字高田 180 番 1, 187 番 4	98.40 附	工事実施
10/4	2011059	茨城	施設整備工事	豆羽町 15 番 1	231.96 城下町	工事実施
10/11	2011060	茨城	個人住宅建設	大字北川田 1720-67	113.71	工事実施
10/12	2011061	茨城	宅地造成工事	大字友寄字木ノ本 1, 200 番	1399	工事実施
10/12	2011062	茨城	新築住宅・建設	大字日吉字坂下 2062 + 2063 + 2064 番地	242.0 和田田	工事実施
10/12	2011063	茨城	宅地造成工事	御所 4 号 40 番地 1	155.4 日田条里	工事実施
11/17	2011064	茨城	新築	御所 4 号 40 番地 1 附	209.9 日田条里	工事実施
10/24	2011064	埼玉	小学校建替	牛津江村別野	1	工事実施
10/24	2011015	埼玉	小学校用施設	大字高木字木ノ本 1756 番 1, 200 番	高瀬条里	翌年度以降予備 調査
10/24	2011016	埼玉	小学校用施設・施設	上城内町	碧城山	工事実施
10/24	2011017	埼玉	小学校用施設・施設	大町町玉川市	碧城山	工事実施
10/24	2011018	埼玉	小学校・ブルー律設	渡利 1 丁目	日田条里	工事実施
10/24	2011019	埼玉	小学校グラウンド整備	渡利 1 丁目	日田条里	工事実施
10/24	2011020	埼玉	小学校校舎・ブルー律設	大字大把	人肥	工事実施
10/24	2011021	埼玉	小学校校舎・グラウンド整備	大字大把	人肥	工事実施
10/26	2011022	茨城	街対応地盤	大字北川田 2299	豊民	工事実施
10/26	2011023	埼玉	下条木本管設	大字三和 3623-1 地先へ大字花月 1601-1 地先	高瀬条里	翌年度以降予備 調査
10/26	2011024	埼玉	下条木本管設	大字三和 365-1 地先へ大字西有田 54-2 地先	高瀬条里	工事実施
10/26	2011025	埼玉	下条木本管設	大字三和 935-5 地先へ 907-1 地先	高瀬条里	工事実施
10/26	2011026	埼玉	下条木本管設	大字名神 365-1 地先へ 1114-1 地先	毛坪	工事実施
10/26	2011027	埼玉	下条木本管設	大字名神 961-1 地先へ 962 地先	毛坪	工事実施
10/26	2011028	埼玉	鶴見木道上木道組合	大字三和 360-1, 367-1	150	工事実施
10/31	2011029	埼玉	鶴見木道上木道	大字木室里 569-1 12-5	360 八ヶ	翌年度以降予備 調査
10/31	2011030	埼玉	都市計画道路改良	中崎町 津波 1 丁目	日田条里	翌年度以降予備 調査
10/31	2011031	埼玉	公園整備	米山 2 丁目	水山越峰	詳細未決定
10/31	2011032	埼玉	公園・トイレ建設	大字鶴見字内 106	50	工事実施
10/31	2011033	埼玉	河川アーバン管理構造改修	大字小野 4832-6	50 城下町	工事実施
10/31	2011034	埼玉	鶴見整備・トイレ改修	豆羽町 129	40	工事実施
10/31	2011035	埼玉	朝霞駅前整備	大字朝霞大字 4987	3000	工事実施
10/31	2011036	埼玉	イントシティ整備	大字朝霞大字 8657	9 小丘町	工事実施
10/31	2011037	茨城	黒磯地盤向気通信設	大字渡利字小里取 1132 番 11	493.14 小丘町	工事実施
10/31	2011038	茨城	駒形地盤整備工事	大字木原大字山口の押 4042-1	小丘町	工事実施
11/2	2011038	埼玉	街対応地	大字西有田	詳解未決定	
11/2	2011039	埼玉	街対応地	大字東有田	小丘町	工事実施
11/2	2011040	埼玉	街対応地	大字西有田	日田条里	工事実施

H/2	201641	公施	市道改良	大字小野				工事実施
H/2	201642	公施	市道改良	大字平坂		一部、半崎権穴堀		工事実施
H/2	201643	公施	市道改良	大字西中田（三ノ宮 2丁目）			詳細未決定	
H/2	201644	公施	市道改良	大字東山大山			工事実施	
H/2	201645	公施	市道改良	大字東山（月出町）			工事実施	
H/2	201646	公施	市道改良	天神原（荒原）			工事実施	
H/2	201647	公施	市道改良	御衝町大判			詳細未決定	
H/2	201648	公施	市道改良	大字友里		青山	詳細未決定	
H/2	201649	公施	市道改良	大字平坂		日田幸里	詳細未決定	
H/2	201650	公施	市道改良	大字一和		福道	詳細未決定	
H/2	201651	公施	市道改良	大字鶴の内		大船元洞内	工事実施	
H/2	201652	公施	市道改良	大山（西大山）			工事実施	
H/2	201653	公施	市道改良	大字一迫（横田町）		一迫、花ノ木	詳細未決定	
H/2	201654	公施	市道改良	上膳町川原			詳細未決定	
H/2	201655	公施	市道改良	大字石井（4村町 1丁目）			詳細未決定	
H/2	201656	公施	市道改良	境町 2丁目			工事実施	
H/2	201657	公施	市道改良	大字内野		落久保	詳細未決定	
H/2	201658	公施	市道改良	大字鶴の内			工事実施	
H/2	201659	公施	市道改良	大字西山			工事実施	
H/2	201660	公施	市道改良	天神原（望田）		西	詳細未決定	
H/2	201661	公施	市道改良	天神原（若原）			工事実施	
H/2	201662	公施	市道改良	天神原（本境）			詳細未決定	
H/2	201663	公施	市道改良	大字石井（4村町 1丁目）			宇土・宮ノ原・矢神の木	詳細未決定
H/2	201664	公施	市道改良	大字石井（4村町 1丁目）	1308.01		工事実施	
H/2	201665	公施	市道改良	大字石井（4村町 1丁目）	200	大把	工事実施	
H/2	201666	公施	市道改良	竹田町 415 番地	97.29	人頭	工事実施	
H/2	201667	公施	分合住宅造成工事	境町 1丁目 421 番	1985		工事実施	
H/2	201668	公施	個人住宅造成工事	上町 1丁目 182-16	108	日田幸里	工事実施	
H/2	201669	公施	住宅整理工事	大字西山 220 地番 3			工事実施	
H/2	201670	公施	宅地造成	鳥島 2丁目 280 番 13±0.3 町	2087	日田幸里	H23 予備調査	
H/2	201671	民間	事故車両一時貯留	大字新笠寺郷 / 舟 1618 番 1	882.45		工事実施	
H/2	201672	民間	個人住宅建設	三本木町 2丁目 20	19.46	日田幸里	工事実施	
J/1	201673	民間	作業面整備工事	大字天神原由宇山 1176-13, 2294-9	300		工事実施	
J/1	201674	民間	施設	境町 2丁目 6-8		慈眼山	H23 小箇調査	
J/1	201675	民間	老人ホーム建設	城町 1丁目 116-1	1470	日田幸里	H23 小箇調査	
J/2	201676	民間	施設タックリ工事	大字・和子原町 971 番 1 階 4 階	1824.97	三和敷田	工事実施	
J/2	201677	民間	試験施設工事	渡波 1丁目 43-11	47.79	日田幸里	工事実施	
J/2	201678	民間	防災避難施設工事	羽川町 127 番地		橘下町	H23 会立調査	
J/2	201679	民間	事故車両一時貯留	大字天神原由宇山 1176-6	172		工事実施	
J/2	201680	民間	事故車両一時貯留	大字天神原由宇山 1176-10	86.36	轟ノ原	工事実施	
J/2	201681	民間	工事伴合施設工事	大字女川 2丁目 2-2, 2091 番 1	2910.51	小笠山構成部	工事実施	
J/2	201682	民間	分合住宅造成工事	大字赤坂由宇山 229 番地 1	300	日田幸里	H23 予備調査	
J/2	201683	民間	個人住宅造成工事	大字・和子原 7 處 2656 番 3	219.81	三和敷田	工事実施	
J/2	201684	民間	毒物建設工事	大字・和子原の久保 501 番地	194.40		工事実施	
J/2	201685	公施	公園施設	大字上野			工事実施	
J/2	201686	民間	野木蓮池造成工事	大字庄子町 8丁目 / 庄 227-1, 826-1, 830-1, 841-5, 842-5, 本 郷, 里	4195.76		工事実施	
J/2	201687	民間	集合住宅建設	新前吉町 43 番地 13	577.00	轟ノ本	工事実施	
J/2	201688	民間	個人住宅建設	大字二町 1 本村 647 番地 5	397.27	日田幸里	工事実施	
J/2	201689	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字西原子ノ下 387 番 2	130		工事実施	
J/2	201690	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	天神原（御田ノ原）北側 1310 番 17	130		工事実施	
J/2	201691	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	上町（羽川字子ノ原 300）番 1	130		工事実施	
J/2	201692	民間	個人住宅建設	大字・和子原 7 處 2647 番 5, 2647 番 2 の一部	261.16	三和敷田	工事実施	
J/2	201693	民間	マンション建設	先光 2丁目 478-12 号 1-7	3500	城下町	工事実施	
J/2	201694	民間	民家	大字・和子原 222 番 1	322.50	慈眼山	H23 会立調査	
J/2	201695	民間	個人住宅建設	大字日吉字戸 1847 番 1, 1847 番 2	852.00	日西	工事実施	
J/2	201696	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	上町（羽川字子ノ原 476）番 2	130		工事実施	
J/2	201697	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1185 番 4	130		工事実施	
J/2	201698	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1205 番 2020 番 1	130		工事実施	
J/2	201699	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1357 番	70		工事実施	
J/2	201700	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1360 番 2	70		工事実施	
J/2	201701	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1362 番 4	70		工事実施	
J/2	201702	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1363 番 4	70		工事実施	
J/2	201703	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1364 番 1	70		工事実施	
J/2	201704	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1365 番 1	70		工事実施	
J/2	201705	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1366 番 1	70		工事実施	
J/2	201706	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1367 番 1	70		工事実施	
J/2	201707	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1368 番 1	70		工事実施	
J/2	201708	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1369 番 1	70		工事実施	
J/2	201709	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1370 番 1	70		工事実施	
J/2	201710	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1371 番 1	70		工事実施	
J/2	201711	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1372 番 1	70		工事実施	
J/2	201712	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1373 番 1	70		工事実施	
J/2	201713	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1374 番 1	70		工事実施	
J/2	201714	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1375 番 1	70		工事実施	
J/2	201715	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1376 番 1	70		工事実施	
J/2	201716	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1377 番 1	70		工事実施	
J/2	201717	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1378 番 1	70		工事実施	
J/2	201718	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1379 番 1	70		工事実施	
J/2	201719	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1380 番 1	70		工事実施	
J/2	201720	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1381 番 1	70		工事実施	
J/2	201721	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1382 番 1	70		工事実施	
J/2	201722	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1383 番 1	70		工事実施	
J/2	201723	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1384 番 1	70		工事実施	
J/2	201724	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1385 番 1	70		工事実施	
J/2	201725	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1386 番 1	70		工事実施	
J/2	201726	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1387 番 1	70		工事実施	
J/2	201727	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1388 番 1	70		工事実施	
J/2	201728	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1389 番 1	70		工事実施	
J/2	201729	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1390 番 1	70		工事実施	
J/2	201730	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1391 番 1	70		工事実施	
J/2	201731	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1392 番 1	70		工事実施	
J/2	201732	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1393 番 1	70		工事実施	
J/2	201733	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1394 番 1	70		工事実施	
J/2	201734	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1395 番 1	70		工事実施	
J/2	201735	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1396 番 1	70		工事実施	
J/2	201736	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1397 番 1	70		工事実施	
J/2	201737	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1398 番 1	70		工事実施	
J/2	201738	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1399 番 1	70		工事実施	
J/2	201739	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1400 番 1	70		工事実施	
J/2	201740	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1401 番 1	70		工事実施	
J/2	201741	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1402 番 1	70		工事実施	
J/2	201742	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1403 番 1	70		工事実施	
J/2	201743	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1404 番 1	70		工事実施	
J/2	201744	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1405 番 1	70		工事実施	
J/2	201745	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1406 番 1	70		工事実施	
J/2	201746	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1407 番 1	70		工事実施	
J/2	201747	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1408 番 1	70		工事実施	
J/2	201748	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1409 番 1	70		工事実施	
J/2	201749	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1410 番 1	70		工事実施	
J/2	201750	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1411 番 1	70		工事実施	
J/2	201751	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1412 番 1	70		工事実施	
J/2	201752	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1413 番 1	70		工事実施	
J/2	201753	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1414 番 1	70		工事実施	
J/2	201754	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1415 番 1	70		工事実施	
J/2	201755	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1416 番 1	70		工事実施	
J/2	201756	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1417 番 1	70		工事実施	
J/2	201757	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1418 番 1	70		工事実施	
J/2	201758	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1419 番 1	70		工事実施	
J/2	201759	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1420 番 1	70		工事実施	
J/2	201760	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1421 番 1	70		工事実施	
J/2	201761	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1422 番 1	70		工事実施	
J/2	201762	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1423 番 1	70		工事実施	
J/2	201763	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1424 番 1	70		工事実施	
J/2	201764	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1425 番 1	70		工事実施	
J/2	201765	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1426 番 1	70		工事実施	
J/2	201766	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1427 番 1	70		工事実施	
J/2	201767	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1428 番 1	70		工事実施	
J/2	201768	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1429 番 1	70		工事実施	
J/2	201769	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1430 番 1	70		工事実施	
J/2	201770	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1431 番 1	70		工事実施	
J/2	201771	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1432 番 1	70		工事実施	
J/2	201772	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1433 番 1	70		工事実施	
J/2	201773	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1434 番 1	70		工事実施	
J/2	201774	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1435 番 1	70		工事実施	
J/2	201775	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1436 番 1	70		工事実施	
J/2	201776	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1437 番 1	70		工事実施	
J/2	201777	民間	渋谷能登麻績工場跡地設置	大字・和子原 1438 番 1	70		工事実施	
J/2</td								

3/1	2011123	浜郷	個人住宅建設	田舎1丁目554-555-4	334.80	自由条契	工事実施
3/12	2011124	浜郷	児童デイサービス建設	浜倉1丁目53-5	104.01	自由条契	工事実施
3/21	2011125	浜郷	野球合宿施設新築	大字西郷字神田1152-2の一部ほか2箇	29	自由条契	工事実施
3/22	2011126	浜郷	分譲地造成	大字三和字御町955-1, 955-3, 965-2	1323.25	「和敷田」	工事実施
3/22	2011127	浜郷	マンション建設	丸山2丁目111番地1, 112番地1	363.01	自由条契	工事実施
3/26	2011128	浜郷	個人住宅建設	前吉町118番3, 120番16	308.99	自由条契	工事実施
3/29	2011129	浜郷	分譲地造成	大字二和字美神田290-1, 291-1	1765.51	自由条契	工事実施



平成23年度 発掘調査位置図 (1/25,000) (図中の番号は表2、3の番号に対応する。)

## 2) 発掘調査・確認調査の概要

### 1. 城下町遺跡調査概要

城下町遺跡は、国の伝統的建造物群保存地区に選定されている豆田町や温泉街の隈町を中心とする遺跡である。今回の調査は豆田町の防災拠点となる防災センター建設や防火水槽設置に伴って、豆田町のほぼ中央、御幸通りと住吉町通りに面する部分を対象とし、御幸通りに面した防火水槽設置箇所をA区、北側の住吉町通りに面した防火水槽設置箇所をB区、その東側の防災センター建設予定地をC区として実施した。

まずA区については、前年度の予備調査で確認された玉石列が南北約10m、東西約4mの規模で確認された。この玉石列は旧古賀医院の曳き家移転の対象地となる西側にも展開することが確実であったことから、調査区を拡張してその確認を行った。その結果、1号建物の規模は東西方向が約8mあることが確認され、10m × 8m (5間 × 4間) の規模となることが判明した。また、1号建物跡の北側には2号建物跡、東側には3号建物跡も確認され、それぞれ北側、東側へ広がるとみられる。

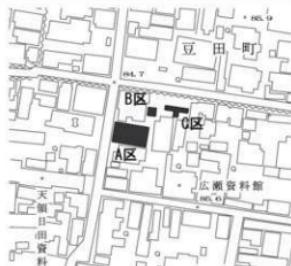
これらの玉石には、被熱したものや、再利用とみられる番号が墨書きされたものなどがあり、今回確認された建物は豆田町で発生した明和9(1772)年の大火以後に建築されたものと考えられる。また、これらの玉石は建物の基礎となるものであるが、この上に直接柱を据えるのではなく、切石を置いて、その上に柱を置く構造である。このような構造は日田の建物基礎には多く見られ、切石の下部は「ひかりつけ」と呼ばれる技法で調整を行い、玉石に据える。

この他、1号建物跡の床下にあたる部分から、木と石で枠組みされた穴戸が1基、井戸が1基検出された。穴戸は東西方向を長軸とし、長さ約2.9m、幅1.2m、深さ約40cmを測る。また、この穴戸は1号建物跡に伴うとみられるが、井戸(径約90cm)については、時期の異なるものと考えられる。

なお、B区では池の跡が確認されたが、明確な時期を示すような遺物は確認できなかった。C区については後世の搅乱により、遺構は確認されなかった。

今回の調査地は、豆田の町年寄・中村家の土地であったことが江戸時代末の絵図に記されていたが、「三丁目 中村」と書かれた有田焼の皿が出土したこと、そのことが裏付けられ、豆田町における一般的な商家よりも規模が大きく、これも町年寄の建物がより大きかったことが判明した。さらに今回の調査は豆田における最初の本格的な発掘調査であり、建物の基礎構造の全体像が判明したことの意味は大きいといえる。なお、今回の調査で確認された遺構については、防火水槽の設置位置を変更することで保存されることになり、次年度に行う本調査区東側の調査において、遺構への影響が最も少ない位置に設置する予定である。(若杉)

### — 防災施設建設事業に伴う発掘調査 —



調査位置図 (1/2500)



調査区空中写真 (真上から)



有田焼の皿と穴戸

## 2. 史跡ガランドヤ古墳3次調査概要

ガランドヤ古墳群は三麗川左岸の微高地に存在する3基からなる古墳群で、1号墳及び2号墳が彩色壁画を持つ装飾古墳として国の史跡に指定されている。日田市ではガランドヤ古墳群の保護を目的とした保存整備事業に取り組んでおり、昭和59・60年度に石室の確認調査を目的とした1次調査、平成16～20年度に1・2号墳の埴丘構造の把握などを目的とした2次調査を実施している。今回は3次調査にあたり、平成24年度に予定している1号墳の保存施設の実施設計を作成するのに必要となる情報を得る目的で実施した。このため、調査の内容を「①石室入口部の閉塞施設残存状況を確認する。②過去の調査で確認されている列石遺構の展開状況を確認し、埴丘規模決定の判断材料を得る。③1号墳奥壁裏の小マウンドが古墳に伴うものかどうか最終判断を行う。」という3点に絞って実施し、遺跡の破壊を最小限に抑えることとした。

調査は石室入口の羨道部付近に1トレチ、奥壁裏の小マウンドに2トレチを設定して実施した。この際、調査に先立って過去の破壊により崩落して長らく石室への入口を塞ぎ、不安定で危険な状態であった羨道部天井石を石室東側へと移設した。調査の結果、1トレチでは羨道部の構造が明らかとなつたものの、近代の削平が著しいため、羨道部の列石は羨道部東側1m程の前庭部端の箇所で途切れていることが判明した。また、河原石を積んだ閉塞施設の構造が確認されたが、この河原石は前門付近の床まで広がっており、この上部の堆積土下層から中世の青磁が出土したことから、少なくとも中世には閉塞施設が開口していたものと推測される。2トレチにおいては、現地表下1.2m程度の範囲まで近年の搅乱を受けているが、地山上の30cm程度に埴丘土と考えられる版築層が残存していた。しかし、玄室中心から6m程の箇所からは地山まで削平を受けていることが判明したため、墳端は残存していないと判断された。また、搅乱土からは副葬品と想定される耳環が出土しており、この小マウンドが石室内の土などとともにこの箇所に積み直されたものであることが判明した。

以上の調査結果から、「①石室入口部には閉塞施設が残存するものの上部堆積土は古墳に伴うものではない。②削平が著しいため内護列石の展開状況は不明で、小マウンド部分の削平も著しいため埴丘規模決定の新材料は得られない。③奥壁裏の小マウンドの下部には埴丘土が残存するものの、大半が搅乱土である。」という当初の目的に対する成果が得られた。これを受け、石室入口部の堆積土は除去して進入路を確保した。更に、埴丘規模は2次調査で確認された前底部端が唯一の埴丘規模復元の材料となったことから、墳丘の復元中心位置を再度精査し、玄室を中心に28.7m（以前は25.4m）と推定した。そのほか、小マウンドの上部1m程は除去が可能であるものの、副葬遺物が混入している可能性があるため、整備の際には注意が必要である。今後は、これらの成果を保存施設の実施設計に反映させて整備に着手する予定である。（渡邊）

### —史跡整備に伴う発掘調査—



調査区位置図(1/2500)



1トレチ羨道部発掘調査状況



2トレチ発掘調査状況



調査完了後の石室全景

## 3. 永山城跡 2 次調査概要

永山城跡は日田盆地のやや北寄り、花月川右岸に位置する阿蘇溶結凝灰岩の独立丘陵を利用して、慶長6（1601）年に小川亮岐守光氏によって築かれた城郭である。本丸その他に石垣が残るもの、天守等の建物は現存せず、本丸の曲輪に建物の礎石が点在するのみである。現在は丘陵全体が都市公園「月隈公園」として、市民や観光客などに利用されている。

本遺跡はこれまでに数度の予備調査や本調査が実施されており、石垣その他の遺構が比較的良好な状態で残されていることから、本年度より史跡指定・保存に向けた調査を実施することになった。

発掘調査は、遺構の遺存状況の確認および城郭構造の再検討を目的として、本丸を中心に調査区（B、C、D、F：模式図参照）を設定した。以下、本年度の主な成果を記す。

建物礎石が点在し、建物痕跡の検出を目的としたB付近の調査では、既に露出している4m間隔で2基並ぶ礎石を軸として調査区を設定したところ、現地表面よりわずか5cm下で、2m弱の間隔で並ぶ3基の礎石が検出され、軸とした2基の礎石と直交することから、本丸御殿の一部である可能性が高いことが判明した。またこれらの規格に合致しない礎石も見られることから建替えの可能性があることも明らかとなった。

築造当初の石垣および虎口構造の確認を目的としたC・D付近では、上部の石垣は大部分が後世に積みなおされているものの、下部では慶長期の所作と考えられる大きな矢穴を有する石材や、石材を据えるために地山の凝灰岩を削り込んだ「根切り地業」が確認され、石垣前面からコピキA調整瓦が出土していることから、築造当初の石垣の平面プランが現代まで踏襲されていることがわかった。またCの石垣に対し、Dには（從前の調査で算木が見つかっていることから石垣の存在が窺えるものの）地表面に石垣が見られないことから、面的に石垣を確認するために掘下げを行ったところ、算木が抜かれた状況と石垣の中央部から算木にかけて山状に石垣が残存していることが確認され、石垣前面には裏込め石が大量に流出している状況が認められた。これは名護屋城跡（唐津市）や原城跡（南島原市）などで見られる「破城」の痕跡と類似するものである。

本丸へのもうひとつの出入口であるF付近では、算木を伴う石垣の間の通路で3段の階段が検出された。石段から、16世紀後半～17世紀初頭と考えられる朝鮮系陶器碗破片が出土しており、築造当初からの掘手口の可能性が高まった。なお現況ではFからBへのぼる道の正面にはBからAの東屋へ続く極めて新しい石垣が公園整備につくられており、掘手口のさらなる構造の解明のためには、この部分の平面プランを精査する必要がある。

なお発掘調査のほか、敷地内の石造物調査や石垣カルテの作成、縄張図の作成、史資料調査も合わせて実施した。発掘調査を含め、次年度も引き続き調査を継続する予定である。

## —重要遺跡確認に伴う発掘調査—



調査区位置図 (1/2500)



調査地点配置模式図



本丸御殿礎石検出状況



D 区石垣南隅の算木・根切り地業検出状況

## 4. 花ノ木遺跡 1次調査概要

花ノ木遺跡は、二串川の左岸標高約78mの沖積面に所在する。今回の発掘調査は、圃場整備事業に伴いおこなわれた。調査は、前年度の確認調査の結果を受けて遺構が破壊される恐れのある範囲で調査をおこなった。調査の結果、弥生時代～奈良時代にかけて複数の時代に跨る遺構が確認され、竪穴建物跡が10棟、溝状遺構が7条、掘立柱建物跡が9棟検出された。その他に土坑が50基、ピットが700以上検出されている。

弥生時代後期に比定される遺構として、竪穴建物跡が3棟、溝状遺構が2条確認されている。竪穴建物跡は全て方形で中央に竪穴と考えられる焼土を確認することが出来た。溝状遺構は、長さ90m×幅約0.5m×深さ約0.4mで断面は逆台形を呈し、南東から北西に向かって延び、傾斜などから本来は二串川に向かって流れていたものと考えられる。

古墳時代前期に比定される主な遺構としては、竪穴建物跡が7棟、溝状遺構が2条確認されている。竪穴建物跡では内5棟で竪穴を確認し、1棟でカマド跡を検出した。竪穴・カマド跡が検出されなかった残りの1棟については、小形丸底窓、高窓やミニチュア土器が多数出土していることから祭祀に関連する遺構と考えられる。確認された溝状遺構の内、1条は竪穴建物群から離れた調査区南側で検出されており、集落の境を意識した水路の可能性を考えることが出来る。また、水口と考えられる張り出し部を持った溝状遺構も確認されており、水田に関連する遺構の可能性を考えることが出来る。

古墳時代後期に比定される遺構は、調査区の北側で溝状遺構が1条検出されている。二串川に並行しており長さ50m+(+a)×幅約6.0m×深さ約1.0mの規模を持つ。この遺構からは、多量の木材が出土しており、今後この遺構の機能を考える上で注目される。

奈良時代の遺構としては掘立柱建物跡が8棟と溝状遺構が1条確認されている。掘立柱建物跡は、2間×4間の規模が1棟と2間×2間が7棟検出されている。溝状遺構は長さ90m(+a)×幅約2.0m×深さ約0.3mの規模で、調査区の南側で検出され、東西に横断している。一部に水口と考えられる張り出し部分が確認されており、水田に関連する水路の可能性がある。

今回の調査では、宮原台地と吹上原台地（朝日ヶ丘）の谷部において弥生時代～古代の小規模な集落や水田関連の遺構を確認し、この地域における土地利用を推測するための貴重な情報を得ることが出来た。今後は、集落の変遷やその範囲を周辺調査地の成果と併せながら検討していく事が課題である。（上原）

—圃場整備に伴う発掘調査—



調査区位置図 (1/2500)



遺構集中区空中写真 ( 真上から )



4号竪穴遺構発掘状況

## 5. 平田遺跡調査概要

調査地は、二串川右岸の標高約81m付近の沖積面にあり、この調査地より、約700m下流で君迫川、朝日川と合流する地点にある。

調査はまず、耕作土の除去後、表土剥ぎ、遺構検査を行った。遺構検出面は水田基盤上のほぼ直下から15cmの深さで確認され、色は茶褐色系を呈していた。なお、検出時における調査区内の標高は80.3m前後である。

調査の結果、竪穴建物跡5軒、掘立柱建物跡5棟、土坑5基、溝状遺構2条、ビットが多数確認された。

竪穴建物跡については、まず1号竪穴建物跡がカマドを付設しており、屋内土坑（5号土坑）出土の土師器高杯から5世紀前半～中頃と考えられる。このほか、2・3号竪穴建物跡からは弥生時代後期の甕や古墳時代中期の甕などが出土しており、この2時期の切り合いがあるとみられる。

掘立柱建物跡は、倉庫と考えられる2間×2間の純柱建物を含み、北西・南東方向にもしくはそれに直交する方向で軸を描いて配置されていた。この中で最も規模の大きな2号掘立柱建物跡は梁行が3間、桁行が4間あり、規模は約8.3m×約4.8mを測る。さらにこの建物の南側に隣接する5号掘立柱建物跡は梁行が2間、桁行が3間で規模はやや小ぶりであり、2号の付属的な建物であった可能性がある。この他、3号掘立柱建物跡も軸が同じくしていることから、一連の建物群であったと考えられる。なお、これらの建物跡の時期については、1号竪穴建物跡の柱穴より出土した須恵器环から8世紀代と考えられる。また土坑やビットの中には、10世紀代の土師器碗が出土したものがある。この他、1号溝状遺構は調査区西側にある塚を取り巻くように巡っていたが、時期を決定付けるような遺物は出土せず、また、性格等についても不明な点が残る。

以上、今回の調査では弥生時代後期、古墳時代中期、奈良時代、平安時代の遺構が確認されたが、何れの時期においても遺構数は少なかった。弥生時代と古墳時代の遺構については、竪穴建物跡の床面までの深さから、削平を受けて確認できなかつたものも多いと考えられる。一方、奈良時代の遺構については、建物群の柱穴の深さから削平されている可能性は低いとみられることから、今回確認された数棟のみが限定的に営まれた可能性がある。また、市内でも出土例の少ない10世紀代の遺物が出土したこと、注目できる。（若杉）

### 一圃場整備に伴う発掘調査



調査区位置図 (1/2500)



調査地空中写真



1号竪穴建物発掘状況



掘立柱建物群配置状況



1号土坑発掘状況

## 6. 尾部田遺跡調査概要

調査地は、朝日川左岸の標高 80 m付近の沖積面に位置する。調査は約 35 m、幅約 4～5 m の範囲内を対象として実施した。調査はまず、耕作土の除去後、表土剥ぎ、遺構検出を行った。遺構検出面は水田基盤土の 20～30 cm 下で確認され、色は茶褐色系を呈していた。検出時における調査区内の標高は 79 m 前後である。

調査の結果、土坑 3 基、溝状遺構が 2 条で確認された。これらの遺構のうち、2 号土坑からは古代後半と考えられる土師器椀、1 号溝状遺構からは 8 世紀代の土師器高台付环が出土するなど、時期を特定できる遺物が出土している。

また、検出面中には縄文土器や弥生土器、土師器など多くの遺物が含まれていた。これは、調査区南側からの流れ込みと考えられ、この一帯に集落が存在していたことが想定される。今回の調査区の東側約 250 m の地点では縄文時代後期末から晩期初頭、弥生時代後期終末～古墳時代前期初頭、奈良時代の集落が確認されており、その集落が広がっていたと想定できる。（若杉）

## 一 園場整備に伴う発掘調査



調査区位置図 (1/2500)

## 1号土坑発掘状況



## 7. 花ノ木遺跡 2次調査概要

## 一 市道改良工事に伴う発掘調査

調査地は、1 次調査の隣接地で二串川の左岸の沖積面に位置する。今回の調査は、市道渡里山田線の改良工事に伴い確認調査をおこない遺跡の存在が確認される範囲で発掘調査をおこなった。

調査の結果、竪穴建物跡 1 軒、掘立柱建物跡 2 棟、溝状遺構 1 条の他、ピットは約 50 以上が検出された。

竪穴建物跡は、1 次調査で検出された住居の続きであり、1 次調査との成果を合わせると南北 4.0m × 東西 3.5 m の規模を持ち、出土遺物から古墳時代前期～中期の遺構であると考えられる。掘立柱建物跡は、南北軸に 1 間 × 2 間と東西軸に 1 間 × 2 間の規模を持つ 2 棟が確認されている。

今回の調査地は、1 次調査に比べて遺構密度が低いことが特徴として挙げられる。こうした原因是、後世の削平だけではなく集落の端であった可能性も考えることが出来る。

（上原）



調査区位置図 (1/2500)



調査区周辺空中写真



竪穴遺構発掘状況

なかやまじょうとうじょ  
永山城跡調査概要

## —駐車場整備事業に伴う確認調査—

調査地は日田盆地の中央に位置する、通称月隈山と呼ばれる独立丘陵の北側にあたり、かつては堀であった部分を埋め、公園用地として利用している部分にある。

調査は次年度以降に計画されている公園駐車場の整備に先立ち、土壌の石積みの状況や堀の深さ等を確認する目的で行った。

土壌の石積みについては、草刈、土砂の除去を行い、全体の清掃を行った。その結果、後世の積み直しが数回あったとみられるものの、20～30cm大のものを中心として河原石を積んでいる状況が確認できた。また、東側においては凝灰岩の岩盤を加工して、その上部に河原石を積み上げている部分もあった。

次に堀については、石積みの正面に9m×2mのトレンチを設定し、機械による掘り下げを行った。その結果、上層部は擾乱を受けたものの、現地表面より約90cm下部で堀の掘り込み面が確認でき、この部分まで土壌の石積みもみられた。また、この石積みの最下部においては「根きり」と呼ばれる、石を据えるために地山を掘りくぼめた状況が確認された。

この他、堀の内部には土留めに利用されたとみられる加工木が確認された。なお、作業の安全上、トレンチ幅を広く設定できず、また河原石が大量に流れ込んでいたことから、堀の肩から約1.1mまでの深さまでしか掘り下げられず、底面の確認までには至らなかった。

次年度は今回の結果をもとに、本調査を行う予定にしている。(若杉)

※確認調査立会一覧表 [表3] 番号28に該当する。



調査区位置図 (1/2500)



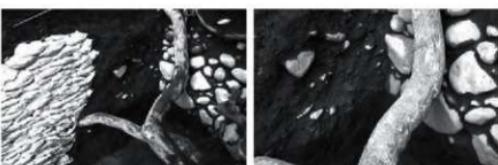
調査前の状況 (北から)



石積み及び凝灰岩岩盤検出状況 (北から)



石積み検出状況 (北から)



東壁土層堆積状況及び根きり状況



トレンチ発掘状況 (北から)

## II 平成23年度の発掘調査報告

筑後軌道豆田駅転車台跡調査報告

－遺跡内容確認に伴う発掘調査－

はじめに

\*発掘調査一覧表[表2]番号8

筑後軌道は、明治36年に開業したその前身である吉井馬車鉄道が、吉井・上田主丸間を結ぶ客車1両での運行に始まる。その後、運行区間も延伸され、大正5年には筑後軌道の運営によって久留米～日田豆田を結ぶ本線路線が開通した。完成路線には39駅が設置され、このうち日田市には西から長瀬、加加鶴、川下、発電所前、石井、徳瀬、隈、そして終点の豆田の各停留所や乗降場が設けられた。このことにより、これまでの筑後川を利用した河川交通から鉄道交通へと大きな変換を遂げることになり、日田市の近代化に大きな役割を果たすことになるが、昭和3年の久大西線の開通によって、翌年には廃止となった。

このような歴史をもつ筑後軌道に、日田市民の有志でつくる「筑後軌道調査会（代表 熊谷洋一郎）」は長年にわたって調査・研究を進めてきた。今回発掘調査を行った豆田駅転車台の場所については、土地所有者である永田靖彦氏が平成元年（1989）の店舗改装の際にその存在を確認しており、同調査会によって精査の必要が叫ばれ、日田市教育委員会が同会等とともに発掘調査を実施することになった。

### 1. 豆田駅転車台跡の位置（第1図）

筑後軌道豆田駅転車台は、日田市丸の内町34番地に所在する。この場所は、豆田町に残る重要文化財草野家住宅のすぐ裏手にある。転車台は、すぐ北と西に江戸時代に造られた豆田町を貫流する玉石積みの水路があり、地盤面が少し高い場所に設置されている。（第2図）

筑後軌道調査会の調査によれば、転車台は当時の豆田駅構内の最も北側に付設されていた。南北約120メートルの駅構内には、北の転車台から南に格納車庫・給水棟・貨物倉庫、豆田駅舎などが配置されていたことが判明しており、駅舎の古写真も残っている。

また、付近の明治期の字図には筑後軌道が鉄道用地と記され、その路線は第1図のとおり、転車台から城内川まで伸び、その後は現在の県道丸山五和線の道路敷きを南へと真っ直ぐに延びていたことがわかっている。



第1図 築後軌道豆田駅転車台跡の調査区位置図

## 2. 発掘調査の内容（第2・3図）

発掘調査はナガタ電気敷地内の11m<sup>2</sup>を対象に7月19日から開始し、9月6日まで行い、調査期間中は所有者の好意により、長期間の現地公開を行うことが出来た。

調査では現在舗装されているコンクリート下、約50cmの場所で転車台跡を確認した。転車台跡は、築後軌道の廃線に伴って壁などは壊され、基礎部分のみが残存していた。廃線後は、住宅が建てられていたという所有者の証言もあり、土壟層観察(写真6)によれば転車台の基礎部分上面まで埋め土で覆われていた。また、基盤は黄色の砂層であった。

以下、調査内容を記す。

### 基础部分 (写真 1・4・5)

今回の発掘調査によって確認されたのは、軒車台の上台にあたる基礎部分で

ある。調査では全掘していないため、主に基礎部分の内面しか把握できず、基礎造りなどは不明であるが、基礎部分の掘り込みライン（写真5）は確認することができた。基礎部分の平面形態は円形をなし、中央には橋梁を支えるための軸受けが残っていた。壁は全て失われていた。

#### 軸受け（写真7）

直径約1.8mのほぼ円形に造るコンクリート造りの高さ10cmほどのマウンド状の高まり中央には、40cm四方の軸受け痕跡が認められた。この方形の軸受けには、四隅に25cm間隔に4本の鉄製のボルトが打ち付けられていた。このボルトは、回転軸受けを固定するためのものである。鉄製ボルトは直径2cm、長さ8cmで、いずれも曲げられた状態で確認できた。

#### レール(写真8)

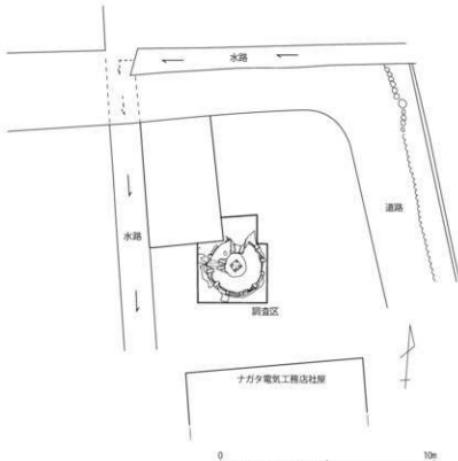
基礎部分の周囲には、橋梁の両端下に付随した車輪を受けるレールの痕跡が確認できた。レールは転車台を壊すときに除去されたと考えられ、レールの鉄錆痕跡や枕木を留めた大釘の確認から、その存在を知ることができた。(第1表) レール痕跡は、最大幅 7 cm を測る。受け付け中心部からレール痕跡までの距離は 1.25 ~ 1.33 cm を測ることから、直角 2.6 m の円形に巡るレールが敷設されていたものと推定される。

枕木(写真8)

レール固定用の12本の枕木痕跡を確認でき、枕木は軸受け中心部から放射線状に配置されている（第1図）。枕木は腐食し、一部織維状に残っていた程度である。枕木痕跡から知りえる大きさは、長さが83～87cm、幅が15～16cm、高さが10～13cmである（第2表）。

#### 配水管（写真 8・9）

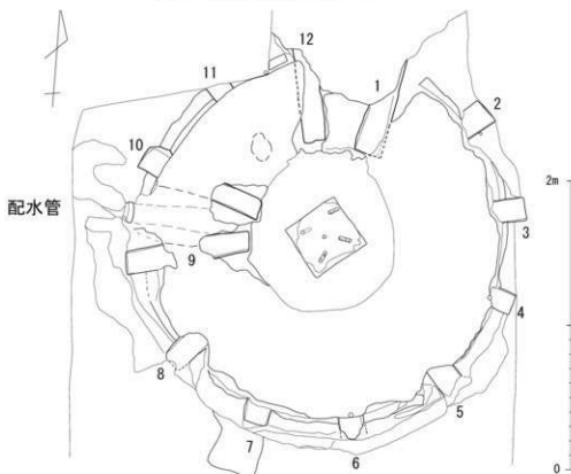
転車台の西側に土管を用いた排水施設が付設されている。基礎部分の標高は 84.674 m 前後に仕上げられており、配水管近くではその一 16 cm に整えられている。土管の直径は口部で 15 cm を測る。この配水管はほぼ西に 2.5 m のびて、南北方向に流れている水路に排水されるように設計されている。配水管の両端は破損しているが、地中下部分は現存しているようである。



第2図 筑後軌道豆田駅転車台跡の調査区位置図(1/200)



写真1 転車台発掘写真（南から）



第3図 転車台跡遺構実測図 (1/30)

### 3. 出土遺物

今回の発掘調査では、転車台の時期に関する遺物はほとんど出土していないが、枕木痕跡などから計9本の犬釘が出土した（写真2）。各犬釘の寸法は第1表にまとめているが、長いもので10.9cm（第4図）、短いもので8.7cmを測る。類似した寸法も見受けられるが、いずれも微妙に大きさが異なる。枕木痕跡にも2本の犬釘がそのまま残っており、これら9本の犬釘もレールを止めるために使われていたものであろう。

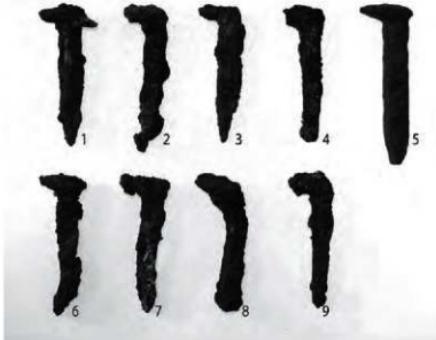
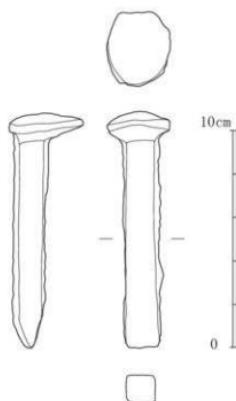


写真2 犬釘の写真



第4図 犬釘5の実測図 (1/2)

### 4.まとめ

今回の調査では、筑後軌道の終点である豆田駅転車台跡の実態を把握することができた。この転車台跡は概ね次のような工程により構築されたと考えられる。まず砂質地盤を掘り込み、軸受けの土台となるコンクリート基礎を造り、同時に排水土管を設置する。その後、枕木12本を放射線状に配置し、円形レールを犬釘で固定し、モルタルで内部底を仕上げて基礎部分とする。その後、円形に壁を造り、回転軸受けや回転軸などを取り付けたと仮定できる。また調査結果をもとにすれば、転車台の壁内面の直径は2.8mと推定される。

さて、転車台の発掘調査は、東京都旧汐留貨物駅跡（汐留遺跡）での機関車用転車台や貨車用転車台〔注1〕、JR奈良駅構内での機関車用転車台〔注2〕などで行われている。しかしながら、筑後軌道のような軽便鉄道の転車台の発掘調査例は余りなく、三重県の都市間軽便鉄道である三岐鉄道北勢線の終点阿下喜駅では掘り起こされた転車台の復元がなされている。今回の豆田駅転車台については調査後埋め戻しを行ったが、土地所有者や筑後軌道調査会によって跡地にはタイル表示や説明板が設置された。（写真10）

また、筑後軌道については、平成23年度には久留米市立草野歴史資料館では『なつかしの風景 築後の軌道』展、日田天領資料館では『なつかしの風景 築後軌道』が開催されるなど、最新の資料や解説展示が行われた〔注3〕。こうした展示会にあわせて筑後軌道調査会も市内に残る豆田町転車台跡をはじめとする亀山町の軌道敷跡〔注4〕、高井町の逆谷・長渕駅などの調査を行い、筑後軌道に関する多くの資料の蓄積が進められており、今後、さらに筑後軌道の歴史的事実が明らかになっていくと思われる。

明治26年に発行された地元紙『日田新報』第56号には、「日田鉄道」という見出しが掲載されており、宇之島港又は中津港から耶馬溪、日田、吉井、田主丸、久留米を経て若津港に通する鉄道付設を伝えている。この経緯については、宇之島の有志などが豆田町の掛屋千原藤一郎に話を持ちかけ、草野忠右衛門、樋口節蔵ら7名で設立委員会

が発足している。この計画路線は筑後軌道と同一のもので、その後日田鉄道は鎮西鉄道と名が変わったが計画は進まず、明治31年には日田・久留米間の西州鉄道へと受け継がれ、吉井馬車鉄道へと移行する歴史を有する。明治中頃の「日田鉄道」という周防灘から筑紫灘を結ぶ最長線としての九州横断鉄道開通の夢は叶わなかったが、当時の関係者の想いが豆田駅転車台跡に残されており、近代日田の歴史を語る上で欠かせない産業遺産の一つといえよう。

最後に、発掘調査では永田靖彦氏のほか、熊谷洋一郎・桑野洋輔（筑後軌道調査会）、樋口一成（久留米市立草野歴史資料館）、行時志郎（日田市立博物館）、田中常雄（日田考古学同好会）、森山敬一郎・財津真弓氏をはじめとする多くの方々のご協力をいただいた。

注1) 佐藤 攻ほか『沙留遺跡・旧沙留貨物駅跡地内の調査』東京都埋蔵文化財センター 1997年

注2)『櫛原考古学研究所年報 32 平成17年度(2005)』奈良県立櫛原考古学研究所 2007年

注3) 樋口一成『なつかしの風景 築後の軌道』久留米市立草野歴史資料館 2011年

注4) 平成22年度に大分県教育委員会が市内龜山町の県道丸山五和線工事に先立つ調査において、軌道跡を確認している。

(参考文献)

針谷武志「遡れた鉄道の敷設」「中津日田玖珠の歴史」郷土出版社 2007年

大竹憲治ほか『季刊考古学』第72号 雄山閣 2000年

第1表 出土犬釘一覧表（番号5だけは鋸を落とした状態。）写真は、写真2に該当）

番号	写 真	全体		頭 幅	重さ	出土位置	備 考
		長さ	厚み				
1	上段左	9.4	1.2×1.3	3.0	2.6	82.7	不明 木質が残る
2	上段左から2番目	9.8	1.2×1.3	2.8	2.6	88.0	不明
3	上段左から3番目	9.2	1.4×1.3	2.6	2.2	85.1	不明
4	上段左から4番目	9.1	1.3×1.2	2.4	2.0	68.5	不明
5	上段左から5番目	10.9	1.4×1.5	3.4	2.8	152.0	不明
6	下段左	9.4	1.2×1.3	2.8	2.2	66.9	不明 木質が残る
7	下段左から2番目	9.2	1.2×1.2	3.2	2.6	79.3	不明
8	下段左から3番目	8.7	1.1×1.1	2.9	2.2	90.6	不明 大きく変形している
9	下段左から4番目	9.0	1.2×1.1	2.6	2.3	71.0	不明

第2表 枕木痕跡一覧表（番号は、第3図の番号に該当する）

番号	長さ	幅	高さ	備 考
1	69.0+α	16.0	11.0	
2	—	16.0	12.0	
3	—	15.0	10.0	
4	—	16.0	11.0	枕木とレールを留める犬釘が現存している。
5	94.0+α	16.0	13.0	
6	—	15.0	11.0	枕木とレールを留める犬釘が現存している。
7	82.0	15.5	13.0	
8	80.0	15.5	11.0	
9	83.0	15.0	14.5	
10	87.0	15.0	13.0	
11	—	15.0	—	
12	62.0+α	16.0	13.0	

II 平成23年  
発掘調査報告



写真3 発掘調査風景



写真4 転車台跡の確認



写真5 転車台跡の掘り込み面の確認



写真6 転車台跡の土層断面



写真7 軸受け(中央)と排水施設(奥)



写真8 レール痕跡と枕木痕跡



写真9 排水場所 (白丸が土管)



写真10 埋め戻し後のタイル表示と説明版

### III 平成 23 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

#### 1) 埋蔵文化財センター運営事業

平成 15 年度より普及啓発事業を中心とした埋蔵文化財センター運営事業を継続して行っており、今年度は発掘調査速報展及び市民を対象とした考古学講座、体験教室、特別展示会などを実施した。

#### 1. 平成 22 年度埋蔵文化財発掘調査速報展（9月 18 日～11月 4 日）

平成 22 年度に市内で行った発掘調査の成果をいち早く公開するため遺物・写真パネルの展示を行い、市内外から 250 人の来館者があった。

##### ○埋蔵文化財センター見学者数

月	総見学者数	団体	個人	備考
4月	31	28	3	
5月	113	103	10	
6月	61	38	23	
7月	8	0	8	
8月	34	11	23	
9月	145	109	36	速報展（9/18～11/4）見学者数
10月	106	47	59	250名
11月	14	0	14	
12月	6	0	6	
1月	25	22	3	
2月	4	0	4	
3月	10	0	10	
計	556	357	199	



速報展見学風景



考古学講座第 1 講風景

#### 2. 考古学講座「タイムトリップひた vol. 9」

市民を対象に、「考古学」や「埋蔵文化財」を通して「地域の歴史」に対する関心を深めてもらうために市内外から講師を招き、全 5 回の講座を実施した。

月日	回数	内容	講師	受講人数
0918	第1講	古代の日田 ～その歴史と考古学	別府大学名誉教授 後藤 宗俊氏	48
		大波羅遺跡 5 次調査概要報告	文化財保護課職員	
1016	第2講	筑後国御原郡の宮衙	小郡市教育委員会文化財課 柏原 孝俊氏	41
1120	第3講	大宰府と西海道支配 （九州歴史資料館、大宰府政 庁跡、九州国立博物館見学）	九州歴史資料館 小田 和利氏	36
1211	第4講	遥かなり古代大宰府への道	筑紫野市教育委員会 小鹿野 亮氏	28
0129	第5講	日本に残る都城制の 変容と変容	九州大学教授 岩永 香三氏	31



第 3 講バスツアー現地見学

※申し込み人数：62人

### III 普及・啓発事業

#### 3. 体験教室

楽しみながら先人の知恵や技に触れ、埋蔵文化財についての理解を深めてもらうための機会を提供する目的から、「火熾し体験・発掘体験・整理作業見学・展示見学・考古の話」などの体験メニューを各団体からの申込みにより実施した。

月日	団体名	内 容	場 所	参加人数
04/26	大鶴地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
05/06	桂林小学校	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	45
05/11	田島地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
05/26	光岡地区老人クラブ	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	28
06/03	朝日小学校	展示見学、考古の話、火熾し体験	埋蔵文化財センター	10
06/17	のぞみがおか生楽館（小都市）	展示見学	埋蔵文化財センター	28
08/18	日隈公民館	展示見学	埋蔵文化財センター	5
09/29	大明中学校	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	22
10/23	光岡ふれあいまつり	文化財展、火熾し体験、勾玉づくり	光岡小学校	70
10/27	錢渕レディース会	展示見学、考古の話	埋蔵文化財センター	15
02/18	三花公民館チャレンジクラブ	火熾し体験	三花公民館	20



光岡ふれあいまつり(火熾し体験)



光岡ふれあいまつり(勾玉作り)



光岡ふれあいまつり(文化財展)



桂林小学校（整理作業見学）



朝日小学校（火熾し体験）



日隈公民館（展示見学）



大明中学校（展示見学）



錢渕レディース会（展示見学）



三花公民館（火熾し体験）

## 2) 埋蔵文化財の普及・啓発活動

遺跡の調査成果を広く市民に公開するため、文化財指定記念展示、現地見学会、講師の派遣、調査報告書の作成等を実施した。

### 1. 展示会

「小野川の阿蘇4火碎流と埋没樹木が語る9万年の世界」展

会期：8月6日～8月27日（延べ22日間）

会場：パトリア日田ギャラリー

来場者数：3,126名

展示内容：「小野川の阿蘇4火碎流堆積物及び埋没樹木群」の国の天然記念物指定を記念し、特別展示を実施した。指定を受けた地区から出土した埋没樹木のほか他の遺跡で発見された埋没樹木など約80点を展示し、市内外住民に広く周知した。また、展示初日は、地元の小野小学校児童を招待しオープニング行事を行い、期間中多くの来場者が訪れた。



### 2. 現地説明会

①永山城跡2次調査

開催日：8月27日・28日

場 所：永山城跡（月隈公園）

参加者：134人

内 容：平成23年度より重要遺跡の確認を目的として発掘調査を行っている永山城跡の今回の調査成果を広く周知するため、現地説明会を行った。発掘調査の委託先である別府大学とともに解説を行い、地元住民や市内外から延べ134名が参加した。



### ②城下町遺跡

開催日：9月23日

場 所：豆田町123-1（旧古賀病院跡）

参加者：122人

内 容：豆田町において初めての本格的な発掘調査となった城下町遺跡の調査成果を広く周知する為現地説明会を行った。説明会では、建物基礎となっていた玉石列などの解説を行い、地元豆田町の住民を中心に、122名の参加があった。



### ③史跡ガランドヤ古墳

開催日：10月16日

場 所：史跡ガランドヤ古墳（大字石井字西ノ園）

参加者：114人

内 容：史跡の整備に伴う内容確認のための発掘調査を行っている史跡ガランドヤ古墳の調査成果や整備の現状と今後の取り組みを広く周知するため、現地説明会を行った。地元住民や市内外から延べ114名が参加した。



### 3. バスツアー

九州国立博物館見学

開催日：11月20日、23日、24日

場 所：九州国立博物館

参加者：97人（延べ人数）

内 容：平成23年9月21日付けで国の天然記念物の指定を受けた「小野川の阿蘇4火碎流堆植物及び埋没樹木群」の埋没樹木と国の重要文化財の「金銀錯嵌珠龍文鉄鏡」が九州国立博物館で一般公開されたため、見学バスツアーを行った。3日間で延べ97名の参加があり、博物館職員の解説つきで見学していただいた。



#### 4. 講師派遣・講師依頼

平成 23 年度は考古学講座に伴う依頼は 5 件、派遣は 16 件であった。

月日	区分	派遣・依頼先	内容	講師
5/27	派遣	朝日小学校	朝日天神山古墳見学、遺跡のはなし	行時、井上
8/24	派遣	大明小学校	火薬し体験	上原、井上
8/30	派遣	三芳小学校	法恩寺山古墳見学	渡辺、井上
8/31	派遣	竹田地区老人クラブ	出張講話、市内文化財の見学	行時、井上
9/8	派遣	五馬市小学校	宇土遺跡見学	行時、井上
3/28	派遣	日隈公民館	小野理没林風見学	行時、井上
7/6	依頼	別府大学	考古学講座第1講『古代の田畠～その歴史と考古学』	別府大学名誉教授 後藤 宗俊氏
7/10	派遣	桂林公民館	ガランドヤ古墳・穴巻音古墳見学	行時、井上
9/29	派遣	高瀬公民館	高瀬地区的文化財について、現地見学	若杉、井上
10/12	依頼	小郡市教育委員会	考古学講座第2講『筑後国御原郡の官衙』	小郡市教育委員会 柏原 孝俊氏
10/24	派遣	伊藤塾	西都原古墳について	若杉
1/21	派遣	石井小学校	ガランドヤ古墳見学	渡辺、井上
1/24	依頼	福岡県教育委員会	考古学講座第3講『大宰府と西海道支配』 九州歴史資料館、太宰府政府跡、九州国立歴史博物館見学	九州歴史資料館 小田 和利氏 行時、渡邊、武内、井上
1/27	派遣	一般参加者	九州国立博物館見学	財津、土居、若杉、井上
1/28	派遣	一般参加者	九州国立博物館見学	大谷、井上
4/21	派遣	桂林公民館	地区的遺跡と歴史について	行時、井上
4/25	依頼	筑紫野市教育委員会	考古学講座第4講『運かなり古代大宰府への道』	筑紫野市教育委員会 小畠野 亮氏
4/30	派遣	光岡公民館	吹上遺跡、小泊辻原遺跡見学	行時、井上
4/15	派遣	韓国の研究者	吹上遺跡、小泊辻原遺跡、ガランドヤ古墳見学	渡辺
5/8	依頼	九州大学	考古学講座第5講『日本における都城制の受容と変容』	九州大学教授 岩永 省三氏



朝日小学校  
(朝日天神山古墳現地見学)



大明小学校 (火薬し体験)



三芳小学校 (法恩寺山古墳群見学)



五馬市小学校(宇土遺跡現地見学)



竹田地区老人クラブ (出張講話)



石井小学校  
(ガランドヤ古墳現地見学)

### 3) 新指定の文化財

#### 1. 市有形文化財 『伝姫塚古墳出土鉄劍』

本件は日田市大字高瀬字塚脇に所在する日田市史跡の姫塚古墳より出土したと伝えられる鉄劍で、蛇のように身を蛇行させていることから通称蛇行劍といわれるものである。その形態から実用的なものではなく、意図的に曲げられた祭祀用のものと考えられる。

南部中学校・日田市博物館を経て、現在は日田市埋蔵文化財センターに保管されている。

寸法は現存長 38.8cm、最大幅 2.6 cm、最大厚 0.5 cm を測り（先端部及び基部は欠損）、年代は古墳時代中期（5世紀）のものと考えられ、他の出土例の時期とほぼ変わりはない。

蛇行劍については、全国で 76 件の出土が報告されており、その多くは畿内及びその周辺と九州南部に見られる。大分県での出土例はこの劍のみで、希少的価値があり、この鉄劍が出土されたと伝えられる姫塚古墳とともに、日田の古墳時代の歴史を語る上でも、学術的にも重要な資料であることから、平成 23 年 5 月 31 日に市の有形文化財に指定された。



#### 2. 国天然記念物 『小野川の阿蘇 4 火碎流堆積物及び埋没樹木群』

阿蘇火山は、世界有数のカルデラ火山であり、なかでも 9 万年前の阿蘇 4 火碎流の流出は、阿蘇火山最大の噴火である。県教委が行った平成 20 年度の調査では、小野川下小竹付近において、阿蘇 4 火碎流堆積物と火碎流になぎ倒されて取り込まれた樹木化石が良好に産出することが確認された。

埋没樹木はトウヒ属やヒノキ科、スギを主体とする針葉樹が優先し、樹木は二次堆積による「異地性化石」であり、大きく変形している。樹木化石の年輪から、火碎流の発生時期は晩秋から晩春にかけての時期と推定される。

このように、火碎流の堆積の詳細と噴火後の泥流や土石流の発生という阿蘇 4 火碎流堆積物の詳細が観察され、火山国における最大級の火山噴火について多くの知見が得られたことから、平成 23 年 9 月 21 日に日田市で初めての国の天然記念物に指定された。



## 4) 埋蔵文化財関係の保存修理

### 重要文化財大分県吹上遺跡出土品の保存修理

事業は、紀元前2世紀から1世紀頃にあたる弥生時代中期後半の日田地方の有力者の墳墓群の副葬品である重要文化財「大分県吹上遺跡出土品（平成22年6月29日指定）」577点の修理を10年に亘って計画的に行うものである。初年度である平成23年度は4号豪棺墓出土鉄劍と2号豪棺墓出土銅戈計2点の保存修理を実施した。

4号豪棺墓出土鉄劍には鞘部と想定される木質が残存しているものの、表面の剥落が著しく、鞘の形状をとどめている部分の劣化が著しい状態で、また劍身が鍛造であるため、錯の進行による層状の剥離が著しく、破損の危険が強い状態であった。2号豪棺墓出土銅戈は梢外副葬で土に常に接した状態であったため非常に脆く、刃部の錆化と破損が進行した状態であった。そこで、国庫補助事業及び公益財団法人住友財団の助成（鉄劍のみ）を受けて修理作業を行った。作業には熊本都文化財保存研究所があたった。

鉄劍は影響を避けるため脱塩処理は施さず、アクリル樹脂を含浸させることで木質の固着と鉄の強化を図った。さらに、層状剥離が著しく空隙が発生している箇所については、エボキシ樹脂を充填させることとした。全体的な鉄劍の風合いを損なわないために、彩色は樹脂部分に留め樹脂の光沢を抑えた。銅戈は全体の艶を補うためアクリル樹脂含浸を行って強度を増し、さらに脆さの著しい刃部付近の接合箇所には風合いを損ねない程度にアクリル樹脂を増し塗りして補強を図った。

その後、保管のために専用の安定化台座（収納ケース）である桐箱を作成し、鉄劍・銅戈の形状に併せて収納できるものとした。以上の作業の結果、従来の不安定な状態は大幅に改善された。今後は安定化の状態を見ながら、展示等への活用を図っていく予定である。



4号豪棺墓出土鉄劍（住友財団助成）



2号豪棺墓出土

## 5) その他（掲載申請・資料借用、貸出・受領図書・刊行物など）

今年度、埋蔵文化財関連資料の掲載依頼は4件、貸出は7件であった。なお、資料閲覧は本年度はなかった。

### 1、掲載申請

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0511	申請	平成22年度刊行報告書及び平成21年度日田市埋蔵文化財年報データ	日田市埋蔵文化財年報データ	ホームページ掲載
0914	申請	平成22年8月28日実施 永山城跡現地説明会の写真	フリーマガジンスマイル	フリーマガジン掲載
1108	申請	吹上遺跡4号豪棺出土状況写真、同出土品集合写真、同出土銅戈、同出土貝輪集合写真、同勾玉 計5カット	島根県立古代出雲歴史博物館	企画展図録掲載
0223	申請	日田市文化財マップ掲載文化財写真11カット及び説明文	日田市観光協会	ホームページ掲載

## 2、資料貸出

受付月日	区分	資料名	借用・貸出先	目的
0603	貸出	火薬し道具一式	個人	火起し体験内容發表
0715	貸出	ガランドヤ古墳写真パネル3枚	個人	展示
0801	貸出	チャーンチンモドキ種子一式、ドングリ類一式、モモ種子一式、写真	日田市立博物館	展示
0829	貸出	K C V 特別番組DVD「阿蘇4火砕流と日田の成り立ち」	日田市立日隈小学校	学習のため
1116	貸出	吹上跡出土品:4号甕棺蓋出土銅文1点、硬玉勾玉1点、ゴホウ2枚輪9点、ガラス管玉229点	島根県立古代出雲歴史博物館	展示
1128	貸出	小道辻原遺跡1・2号方形環濠建物の空中写真、小道辻原遺跡調査区全体構造配置図、小道辻原遺跡復元模型写真 計3点	佐賀県立名護屋城博物館	展示
0314	貸出	宇土遺跡 推彈 2点	大分県立歴史博物館	展示

## 3、図書の収蔵

①平成 23 年度に各団体から寄贈を受けた図書

総数 1126 冊。(内訳: 文化財機関 78 冊、大学 72 冊、博物館 189 冊、都道府県教育委員会 166 冊、市町村教育委員会 585 冊、その他 36 冊)

②平成 23 年度購入図書

総数 39 冊

## 4、刊行物

平成 23 年度、埋蔵文化財係が担当した刊行物の発行件数は、年報 1 件、調査報告書 4 件、計画書 1 件、図録 2 件の合計 8 件であった。

	書名	巻次	体裁	紙面	内 容
1	平成22年度（2010年度） 日田市埋蔵文化財年報	-	A4	24	平成22年度に日田市教育委員会が行った 埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事 業、埋蔵文化財普及及び啓発事業などを 所収。
2	「求来里の遺跡IV」 求来里平島遺跡4次の調査	102	A4	134	廻廊施設に伴う埋蔵文化財調査の成果。 古墳時代中期～後期の構築物跡や掘立柱 建物跡等の中世の建物やアート等を所 収。
3	慈眼山遺跡8次	103	A4	44	公民館建設に伴う埋蔵文化財調査の成 果。15世紀後半～16世紀前半を中心とし た掘立柱建物跡や構造遺構、土坑やビッ ト等を所収。
4	朝日宮ノ原遺跡・谷ノ久保遺跡	104	A4	64	堆塚造成・福禄施設建設に伴う埋蔵文化 財調査の成果。弥生時代後期～古墳時代 前中期の構造群や礎石等、晩期の土坑や 建物を所収。
5	平成23年度 文化財指定記念特別展 ～小野川の阿蘇4火砕流と埋没樹木が語る9万年の世界～	-	A4	48	平成23年度に行われた文化財指定記念特 別展に際し、製作された展示会の図録。1 冊200円で販売をおこなっている。
6	天然記念物 小野川の阿蘇4火砕流堆積物及び埋没樹木群保存管理・活用構 想	-	A4	88	平成23年度に2回にわたりて開催された保 存管理・活用構想策定委員会での検討に 基づき取まとめを行った計画書。
7	廣瀬淡窓の生家・廣瀬家の歴史と業績 -	-	A4	202	日田市教育委員会が大分県教育委員会、財 團法人廣瀬淡窓資料館の協力を受けて進めて きた「廣瀬淡窓の生家・廣瀬家の歴史と 業績」をテーマにして調査報告書
8	日田市の歴史と文化財	-	A4	152	平成17年3月に市町村合併後の日田市に所 在する国・県・市指定文化財とそれ以外 の主な文化財を紹介した文化財図録。一 冊1,000円で販売をおこなっている。



平成23年度（2011年度）  
日田市埋蔵文化財年報

発行日 平成24年5月31日

編集 日田市埋蔵文化財センター  
日田市教育庁文化財保護課  
〒877-0077

大分県日田市南友田町516-1  
TEL 0973-24-7171

発行 日田市教育委員会  
〒877-8601

大分県日田市田島2-6-1  
TEL 0973-23-3111

印刷 株式会社 インデペイス  
〒877-0076  
大分県日田市龜川町848-1